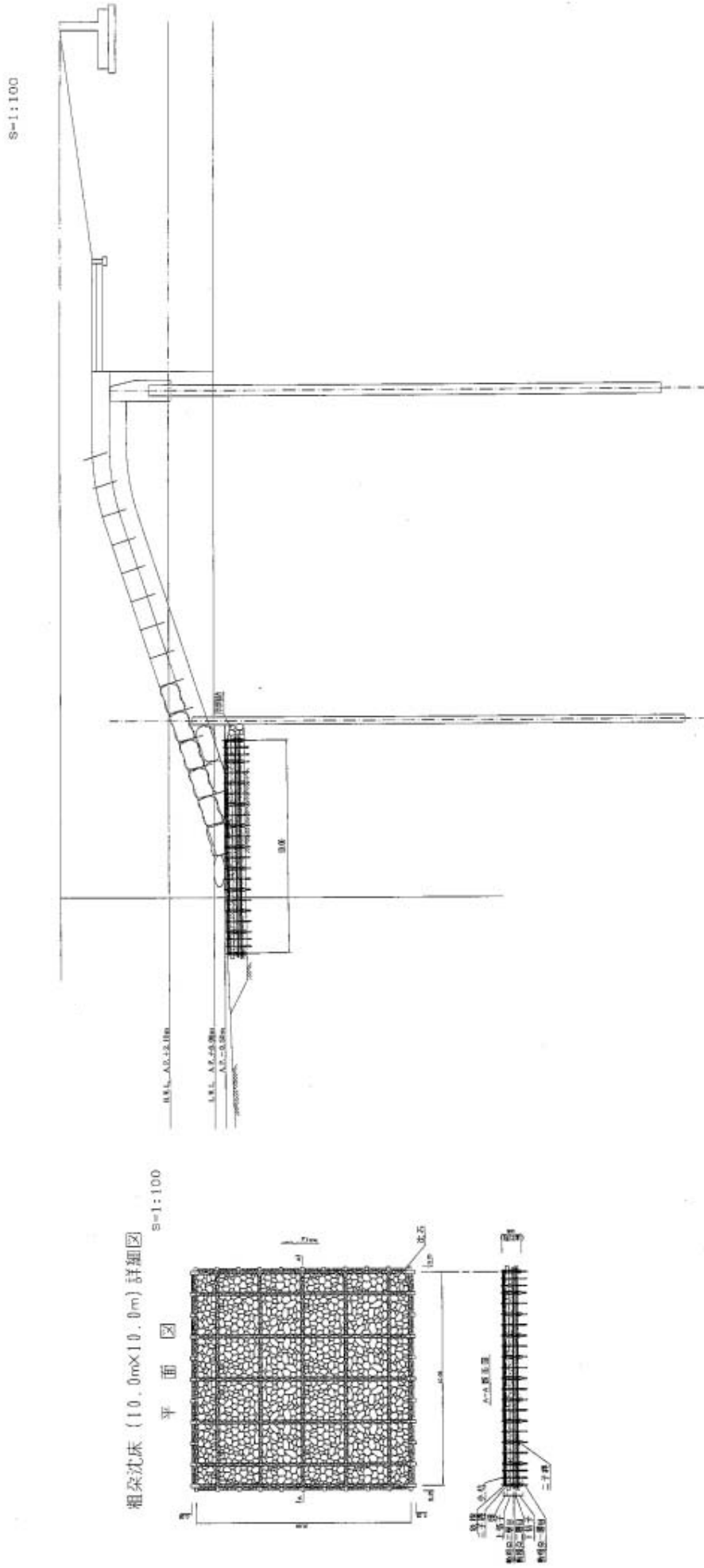


注記（事務局より）

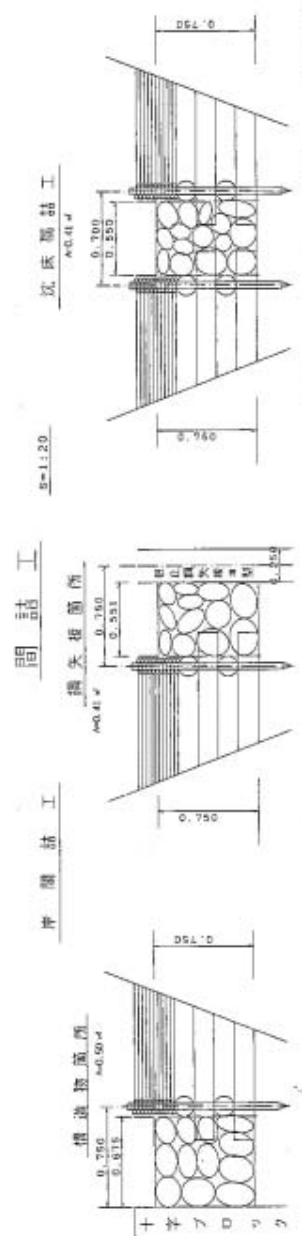
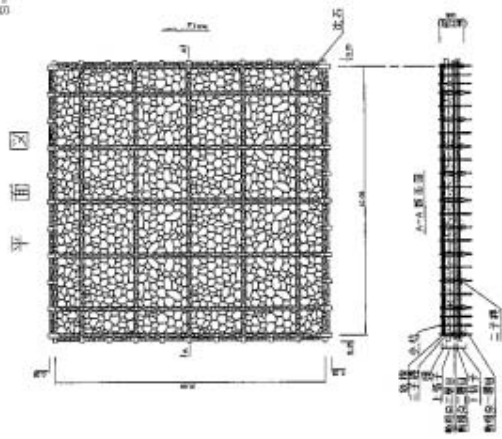
『北陸粗朶業振組合』からは以下の提案をいただきました。

○護岸のり先下面への設置（掘削して設置）

断面図

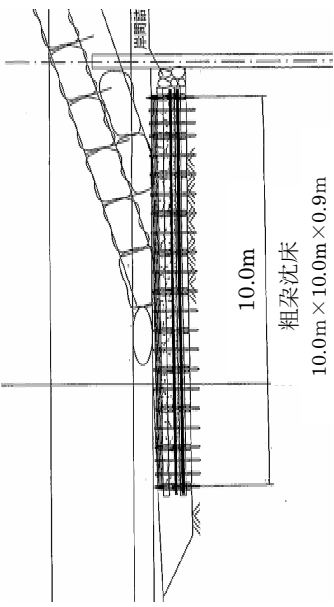
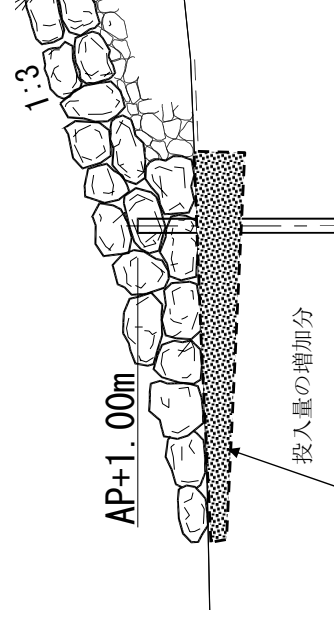
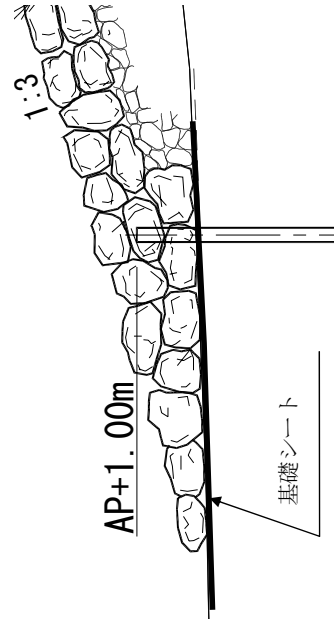


粗朶沈床 (10.0m x 10.0m) 詳細図 S=1:100



工務部	土木課
図番	201
縮尺	S=1:100, 1:20
作成年月日	平成 年 月 日
設計年月日	平成 年 月 日
千歳県	土木課

表-1. 護岸のり先への処理工法の比較

	①粗朶沈床によるのり先部の基礎工法	②被覆石の割り増しによるのり先部の対処	③シート敷設によるのり先部の対処
提案元	新潟県粗朶業共同組合、北陸粗朶業振興組合	従来の工法による対処	従来の工法による対処
イメージ図	 <p>注) 北陸粗朶業振興組合からの提示資料を使用</p>		
市川海岸での設置目的	<ul style="list-style-type: none"> 海床材と巨石種みとの緩衝工（先固め工）。大面積で海床材に等分布加重をかける事により構造物を安定させる効用を期待する。 → 新潟県粗朶業共同組合からの提示資料より 	<ul style="list-style-type: none"> 石材の投入量を増加することによるメリコミ対策（ボリュームによるメリコミ対策） 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎シートの敷設効果によるメリコミ対策（基礎シートの引張り力を利用したメリコミ対策）
市川海岸での設置効果	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟性に富み、海床材に密着し、波の打ち返しに対し緩やかに受け止める透過性機能が期待される。 → 新潟県粗朶業共同組合からの提示資料より 	<ul style="list-style-type: none"> メリコミ対策 	
海岸での施工事例	<ul style="list-style-type: none"> 局部的な洗掘箇所災害復旧、離岸堤や人工リーフの基礎工 → 新潟県粗朶業共同組合からの提示資料・パンフレットより 北陸粗朶業振興組合のパンフレットより 	<ul style="list-style-type: none"> 石材のメリコミが見込まれる地盤上での捨石基礎や中詰め、マウンド、傾斜堤 	
耐用年数・耐久性	<ul style="list-style-type: none"> 水中の設置となるので有る程度の耐用年数は得られると考えられる（常時水中であれば50年以上の耐用の実績もあり）。 → 三番瀬「海域小委員会」第8回干潟的環境の回復・創造ワーキング（H15.12.11）議事録より 	<ul style="list-style-type: none"> 石材の耐用年数として50年以上。 	<ul style="list-style-type: none"> シートの耐用年数として30年以上。
作業員、材料の手配	<ul style="list-style-type: none"> 材料や専門の作業員は千葉県内では手配できず、新潟県からの手配となる。 → 北陸粗朶業振興組合からのヒアリングより 	<ul style="list-style-type: none"> 従来の工法であるので材料手配等の問題はない。 	
経済性 10m分 (経費込み)	270万円/10m	36万円/10m	8万円/10m
経済性 残工事880m分 (経費込み)	2億3,760万円	3,168万円	704万円